

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	①今後もセンター方式以外に、アセスメント用紙の改善等の検討を行う予定であり、病気などに伴う心身の状況や症状、ADLなどの有する能力を詳細に記載し、介護計画との整合性に繋げていく予定である。	ご入居者の有する能力について、イメージしやすい評価内容を記載し、介護計画書を立案できる。	センター方式以外のアセスメント用紙を導入する。機能面については、訪問理学療法士の協力のもと評価し、特に居位動作や座位保持などの項目について、内容を充実させていく。	12 ヶ月
2	28	②今後も専門用語の記載を控え、ご本人・家族に伝わる表現にしていき、ご本人の発言をセンター方式に追記し、介護計画の目標を具体化していく予定である。	本人の声・想いを大切に介護計画を、ご入居者やご家族が理解できる内容・表現で、作成できる。	日々のケア記録にはカギカッコを用いて本人の発言を残し、センター方式にも反映させる。サービス内容については、専門用語は避け、わかりやすい言葉で細かく記載し、理解しやすく作成する。	12 ヶ月
3	37	2023年度に初めて消防局の方と消防避難訓練を行い、良い評価を頂いた。2025年度は運営推進会議に消防局を招き、地域の方も一緒に避難方法を共有し、1階に避難した後の避難誘導方法を共有していきたいと考えている。	ご入居者・ご家族、消防局・地域の方々と一緒に消防避難訓練を行い、消防局からの専門的な意見をいただきながら、屋上避難後、1階に移動した後のことまで考慮して避難誘導の方法を確認できる。	運営推進会議に位置付けて避難訓練を行い、消防局に講評してもらう。屋上への避難誘導後に想定される状況を理解し、ご入居者が安全に避難できる方法を共有する。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月